

年間授業計画様式例

高島高等学校令和5年度 理科 生物（3年） 年間授業計画

教科 科：理科 科目：生物 単位数：4単位

対象学年組：第3学年（1組～2組）

教科担当者：（1組：猿田・樋口）（2組：猿田・樋口）

使用教科書：（改訂 生物 東京書籍）

使用教材：（アクセスノート 生物 実教出版、スクエア最新図説生物neo 第一学習社）

	指導内容	科目生物の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	(猿田) 生物の進化の仕組み	生命の起源と生物進化の道筋について理解する。	定期考査 授業態度 提出物	12
	(樋口) 遺伝情報の発現	DNAの複製の仕組み、遺伝子の発現の仕組みを理解する。		

	指導内容	科目生物の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	(猿田) 生物の進化の仕組み	生物進化がどのようにして起こるのかを理解する。	定期考査 授業態度 提出物	16
	(樋口) 遺伝情報の発現	遺伝情報の変化を理解する。		

	指導内容	科目生物の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	(猿田) 生物の系統	生物はその系統に基づいて分類できることを理解する。	定期考査 授業態度 提出物	16
	(樋口) 遺伝情報の発現	遺伝子の発現が調節されていること及びその仕組みの概要を理解する。		

	指導内容	科目生物の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	(猿田) 細胞と分子	細胞の内部構造とそれを構成する物質の特徴を理解する。	定期考査 授業態度 提出物	4
	(樋口) 遺伝情報の発現	遺伝子を扱った技術について、その原理と有用性を理解する。		

8月	指導内容	科目生物の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

	指導内容	科目生物の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	(猿田) 細胞と分子	様々なタンパク質が様々な生命現象を支えていることを理解する。	定期考査 授業態度 提出物	16
	(樋口) 有性生殖	減数分裂による遺伝子の分配と受精により多様な遺伝的な組み合わせが生じることを理解する。 遺伝子の連鎖と組換えについて理解する。		

	指導内容	科目生物の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	(猿田) 代謝	<p>呼吸によって有機物からエネルギーが取り出される仕組みを理解する。</p> <p>光合成によって光エネルギーを用いて有機物がつくられる仕組みを理解する。</p>	<p>定期考査 授業態度 提出物</p>	16
	(樋口) 動物の発生	<p>配偶子形成と受精の過程について理解する。</p> <p>卵割から器官分化の始まりまでの過程について理解する。</p>		

	指導内容	科目生物の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	(猿田) 代謝	窒素同化について理解する。		16
	(樋口) 動物の発生	細胞の分化と形態形成の仕組みを理解する。		
	植物の発生	配偶子形成と受精及び胚発生の過程について理解する。		

	指導内容	科目生物の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	(猿田) 動物の反応と行動	外界の刺激を受容し、神経系を介して、反応する仕組みを理解する。	定期考査 授業態度 提出物	4
	(樋口) 植物の発生	被子植物の器官の分化の過程について理解する。		

	指導内容	科目生物の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	(猿田) 動物の反応と行動	刺激に対する反応としての動物個体の行動について理解する。	定期考査 授業態度 提出物	16
	(樋口) 個体群と生物群集	個体群とその変動について理解する。 生物群集の成り立ちについて理解する。		

	指導内容	科目生物の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	(猿田) 植物の環境応答	植物が環境変化に反応する仕組みを理解する。	定期考査 授業態度 提出物	20
	(樋口) 生態系	生態系における物質生産とエネルギー効率について理解する。		

	指導内容	科目生物の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月	(猿田) 植物の環境応答	植物が環境変化に反応する仕組みを理解する。	定期考査 授業態度 提出物	4
	(樋口) 生態系	生態系における生物多様性に影響を与える要因を理解し、生物多様性の重要性を認識する。		